

研究に関する公開情報

公立陶生病院では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけでしたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] 当院における黄色ブドウ球菌の臨床的検討と感染症診療支援の有効性

[当院研究責任者] 部署名 感染症内科 氏名 武藤 義和

[研究の背景] 黄色ブドウ球菌は皮膚に常在する菌で有り、血液中から菌が見つかる(菌血症)と、死亡率は 30%を超えると言われ、特に免疫不全、中心静脈カテーテル挿入中、熱傷などの皮膚疾患がある患者さんはリスクが高いと言われます。また類似の菌に MRSA という一般の抗菌薬の効かない耐性菌が有り、耐性を持つかどうかで治療や効果が変わってくるとされます。海外では治療に関して多くの研究がありますが、本邦ではまとまった報告は少ないです。そのため、当院における黄色ブドウ球菌菌血症を検討し、その臨床的疫学的特徴を明らかにすること、および感染症内科の介入により予後の改善などへの寄与があったかどうかを評価することを目的としております。

[研究の目的] 黄色ブドウ球菌菌血症の臨床的疫学的特徴を明らかにすること、および感染症内科の介入により予後の改善などへの寄与があったかどうかを評価することを目的とします。

■ 研究の対象となる方

2014年7月から2019年8月に公立陶生病院を受診された方のうち、血液培養から黄色ブドウ球菌が検出された方。

■ ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、身体所見、症状、採血検査、画像検査、生理検査結果、治療経過)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究代表者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外の採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■ 個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101
研究代表者 感染症内科 武藤 義和